

エコアクション21

2024年度 環境経営レポート



認証番号0011818



 東北エヌイーエレクトロ

対象期間：2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月31日

2025年 7月22日発行

目次

1、会社の概要	 P 3
2、環境経営方針	 P 6
3、実施体制	 P 7
4、環境経営目標と環境経営計画	 P 8
5、環境経営目標・計画の実績と評価	 P10
6、取り組み内容と評価	 P14
7、環境関連法規などの遵守状況の確認 (評価の結果、違反・訴訟などの有無)	 P18
8、次年度の環境経営目標と環境経営計画	 P19
9、代表者による全体の評価と見直し・指示	 P21



1、会社の概要

事業所名	株式会社 東北エヌイーエレクトロ
代表者	代表取締役社長 川田 雅彦
所在地	本社工場 〒999-2172 山形県東置賜郡高畠町大字夏茂24番地 福沢工場 〒999-2174 山形県東置賜郡高畠町福沢4-899
従業員数	49名
敷地面積	本社工場 959.04㎡ 福沢工場 430.61㎡
環境管理責任者	吉田 一行
EA21事務局	涌井 俊則
連絡先	TEL (0238) 57-5001 FAX (0238) 57-5051 MAIL t-wakui@tohoku-ne.com H.P http://tohoku-ne.com
認証・登録範囲	株式会社 東北エヌイーエレクトロ 全組織・全活動
対象期間	2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月31日
発行日	2025年 5月15日 発行



私たちの会社は、山形県の南東部に位置する高畠町にあります。

高畠町は奥羽の山並みの扇状地に拓けた美しく豊かな町です。

その豊かな自然と、歴史ある高畠町の環境を守るため様々な環境活動を展開しています。



会社の歩み

1981年 高畠町一本柳にて根津製作所 設立

1984年 有限会社 根津製作所 に組織変更（出資金300万円）

工場増改築

1997年 株式会社 東北エヌイーエレクトロ に組織変更（出資金1000万円）

2010年 工場増改築

2011年 創立30周年

高畠町夏茂に本社工場を新設し移転

2013年 ISO9001 認証取得（登録番号：JQA-QMA14926）

2014年 本社工場隣に第二工場増築

2017年 エコアクション21 認証取得（登録番号：0011818）

医療機器製造業 認証取得（登録番号：06BZ200033）

2018年 組織変更 株式会社 コスモスウェブと経営統合

第三工場新設

2019年 福沢工場 稼働開始

2021年 ISO13485 認証取得（登録番号：JQA-MD0163）



2011年 本社工場新設



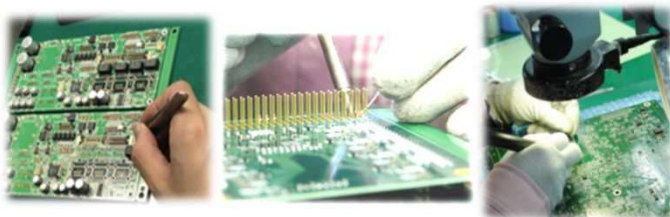
2014年 第二工場増築



2019年 福沢工場 稼働開始

主な使用設備

【手半田付けによる実装】



半田コテ（白光） : FX-951
（その他、用途により高周波半田コテ、リペア機、ブロー 等を使用）

【SMT・DIP装置によるマシン実装】



【検査体制】



卓上型基板外観検査装置（SAKI） : BF18D-P40
大型基板外観検査装置（SAKI） : BF-Sirius
X線検査装置（メディエック） : MX-90Basic

【ハーネス加工・機器組立】



電動式クランパー（大同端子製造） : DH-1B

半田印刷機（DEK）	: HORIZON03iX / HORIZON 02i
半田印刷検査機（CKD）	: VP5200L-V
マウンター（YAMAHA発動機）	: YS24+YS100 / YSM20R
リフロー装置（エイテックテクノロジ）	: AIS-20-82C
（千住金属）	: SNR-1050GT Ver,4.00
DIP噴流槽[有鉛]（セイテック）	: TOM-7-350
DIP噴流槽[無鉛]（セイテック）	: TW-400L
ポイント半田付け装置（セイテック）	: STS-2533Sj



2、環境経営方針

基本理念 株式会社 東北エヌイーエレクトロは、電子機器製造及び機器組立等の事業活動が環境に与える影響を認識し、全従業員が地域に密着した環境にやさしい行動に努め、持続的発展が可能な社会の実現及びありがたいの気持ちでお客様、社員の幸福を目指します

行動指針

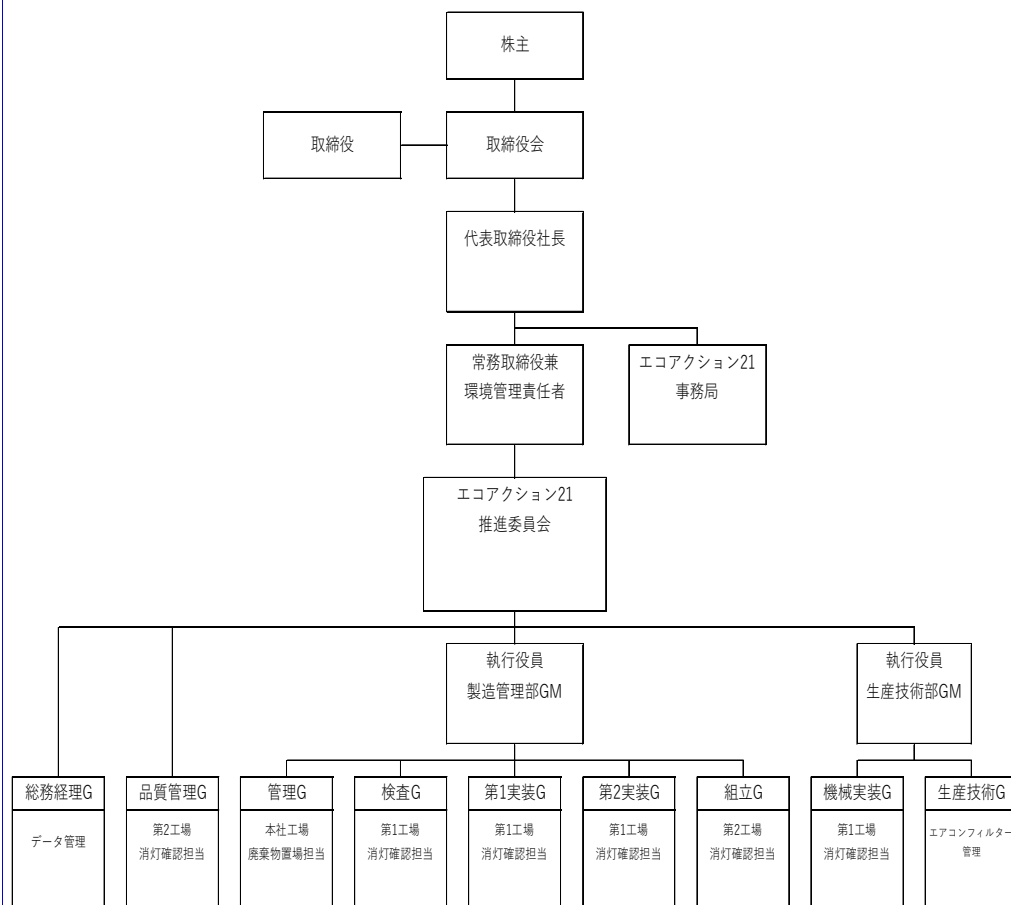
- 1、環境関連法規制・条令等を遵守します。
- 2、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に努めます。
- 3、資源の効率的な使用を推進し、廃棄物の排出量を削減します。
- 4、水資源の効率的利用に努め、総排水量を削減します。
- 5、化学物質の適正管理に努め、使用量を削減します。
- 6、品質の安定・生産性向上に努め、無駄作業の削減を図り環境に配慮した製品づくりを目指します。
- 7、地域の環境活動に積極的に取り組みます。
- 8、環境方針を全従業員に周知すると共に、目標を設定し継続的に改善します。

制定日 2016年 9月 1日
改定日 2022年 7月 1日
株式会社 東北エヌイーエレクトロ
代表取締役 川田 雅彦



3、実施体制

エコアクション21 実施体制図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	●環境経営に関する統括責任 ●経営における課題とチャンス の明確化 ●実施体制の構築（組織図及び役割・責任・権限） ●環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ●環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を準備する ●環境管理責任者を任命する ●代表者による全体の評価と見直しを実施する
環境管理責任者	●環境経営システムを構築・運用する（代表者からEA21の権限を委譲） ●環境経営目標及び環境経営計画/実績を管理、評価する ●環境への取組みを評価する ●教育・訓練の実施を指示する ●環境上の緊急事態への準備・対応を指示する ●環境関連法規等の取りまとめ表作成・遵守評価を実施する ●環境活動の取組み結果を代表者へ報告する
環境事務局	●EA21の推進（環境管理責任者の指示を受けて実行委員と共に活動する） ●環境ネットやまがたの窓口業務を行う ●審査に関する対応を行う ●環境関連文書・記録の管理 ●月ごとのデータ集計
エコアクション21推進委員会	●環境事務局とともにEA21を推進（環境管理責任者の指示を受けて） ●環境への取組チェックを実施する ●事務局と共に環境レポートを作成する ●環境活動のチェック、及び推進
総務経理部門 製造部門 品質管理部門 生産技術部門	●外部環境情報の窓口（総務経理部） ●環境経営目標及び環境経営計画の実施 ●実施上の問題点の是正・予防処置実施 ●各担当の役割を実施する（確認及び、達成状況の報告） ・データ管理・・・電気使用量、水使用量等のデータ管理 ・グリーン購入・・・環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する（コピー用紙など） ・エコ運転推進・・・「ふんわりアクセル」でやさしく発進や、アイドリングストップなどの推進 ・廃棄物置場・・・適切な分別や廃棄物置場の5Sを管理する ・エアコンフィルター管理・・・2回/年のエアコンフィルター清掃及び交換等の指示、管理 ・消灯確認・・・休憩時間等のこまめな消灯を実施する
全従業員	●環境経営方針を理解し、環境への取組みの重要性を自覚する ●日常の生活、日々の生産活動の中で、環境に配慮する ●EA21で決められた各自の役割を実施する

4、環境経営目標と環境経営計画

〈 環境経営目標 〉

項 目			基準年	実績値	環境経営目標（2024年度）		中期経営目標（2024年度～2026年度）			
					内 容	目標値	内 容	2024年	2025年	2026年
①二酸化炭素排出量の削減	■二酸化炭素排出量 （本社工場）	(t-CO ₂ /年)	過去3年間の平均 （2021年度～2023年度）	131.3	基準年度実績値の1%削減	130.0	基準年度実績値の3%削減	130.0 1%削減	128.7 2%削減	127.4 3%削減
	■電気使用量の削減 （本社工場）	(kWh/年)	過去3年間の平均 （2021年度～2023年度）	240,655	基準年度実績値の1%削減	238,248	基準年度実績値の3%削減	238,248 1%削減	235,842 2%削減	233,435 3%削減
	■ガソリン使用量 （本社工場）	(L/年)	2023年度	1,526	基準年度実績値の1%削減	1,511	基準年度実績値の3%削減	1,511 1%削減	1,495 2%削減	1,480 3%削減
	■電気使用量の削減 （福沢工場）	(kWh/年)	2023年度	27,094	基準年度実績値の1%削減	26,823	基準年度実績値の3%削減	26,823 1%削減	26,552 2%削減	26,281 3%削減
②廃棄物排出量の削減	■一般廃棄物処分量	(kg/年)	過去3年間の平均 （2021年度～2023年度）	1,705	基準年度実績値の2%削減	1,671	基準年度実績値の6%削減	1,671 2%削減	1,636 4%削減	1,602 6%削減
	■産業廃棄物処分量	(kg/年)	2023年度	1,690	基準年度実績値の5%削減	1,606	基準年度実績値の15%削減	1,606 5%削減	1,521 10%削減	1,437 15%削減
	■OA用紙購入量	(千枚)	2023年度	61.6	基準年度実績値の1%削減	61.0	基準年度実績値の3%削減	61.0 1%削減	60.4 2%削減	59.8 3%削減
③水使用量の削減	■水使用量 （本社工場）	(m ³ /年)	2023年度	334.0	基準年度実績値の1%削減	330.7	基準年度実績値の3%削減	330.7 1%削減	327.3 2%削減	324.0 3%削減
	■水使用量 （福沢工場）	(m ³ /年)	2023年度	22.0	基準年度実績値の1%削減	21.8	基準年度実績値の3%削減	21.8 1%削減	21.6 2%削減	21.3 3%削減
④化学物質使用量の削減	■IPA使用量	(ℓ/年)	2023年度	765	基準年度実績値の1%削減 （生産数量対比）	757	基準年度実績値の5%削減 （生産数量対比）	757 1%削減	742 3%削減	726 5%削減
⑤製品・サービス関連	■作業改善提案の 具現化（治工具）	(件/年)	2023年度	36	基準年度実績値の10%増加	40	基準年度実績値の30%増加	40 10%増加	45 20%増加	51 30%増加
⑥その他	■コミュニケーション向上	(回/年)	-	-	環境教育の実施	2	環境に関する教育を実施する	2	2	2
	■地域貢献活動	(回/年)	-	-	会社周辺の清掃活動等 （道路・側溝等）	2	会社周辺の清掃活動	2	2	2



〈 環境経営計画 〉

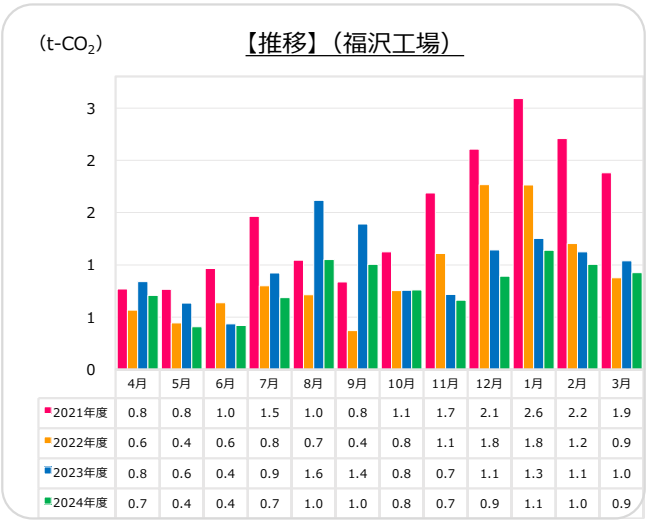
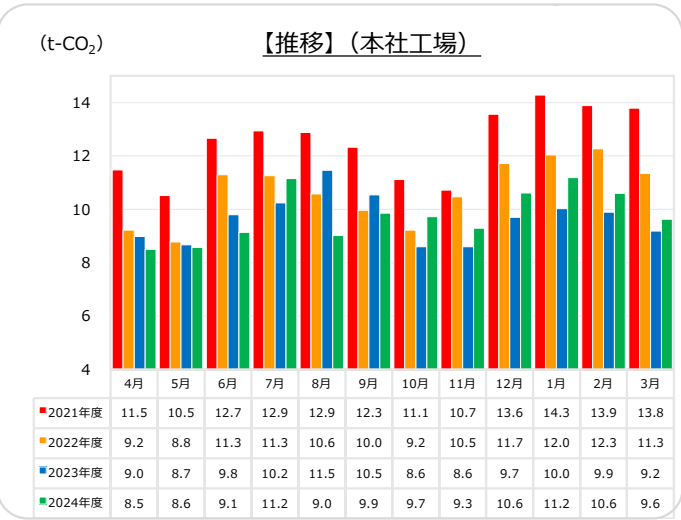
環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	実施時期 (いつ)	該当場所・部門 (どこで)	担当者 (だれが)
①二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■定期的にエアコンのフィルターを清掃する	4月、10月	全社	生産技術G
		■照明器具の改善	通年	〃	EA21事務局
		■デマンド管理の有効活用	〃	〃	〃
		■休み時間は不必要な照明を消灯することの継続	〃	〃	全社員
		■クールビズの促進（作業環境：28℃）	冷房期	〃	〃
		■ウォームビズの促進（作業環境：20℃）	暖房期	〃	〃
		■夏冬期間における生産部材の適正恒温湿保管設定	夏冬期間	福沢工場	該当者
	■ガソリン・軽油使用量の削減 (燃費の向上)	■SMT工程におけるN ₂ 発生装置の効率化	第2Qから	SMT	〃
		■急発進、急加速はしない	通年	社有車	社有車運転者
		■不要な荷物はおろす	〃	〃	〃
		■タイヤの空気圧を定期的に調整する	〃	〃	総務G
		■エコ運転カードの社有車への設置	〃	〃	〃
②廃棄物排出量の削減	■リサイクルの推進	■リサイクル品目の拡大と分別徹底 ■OA紙、ダンボール類のリサイクル継続	通年	廃棄物置場	EA21事務局
	■廃棄物処分量の削減	■トイレットペーパーは芯なしを使用継続 ■OA紙削減（複合機活用による電子化の推進） ■3R活動の推進	通年	全社	全社員
			〃	〃	〃
			〃	廃棄物置場	EA21事務局
	■産業廃棄物の適正管理	■マニフェスト・契約書類の管理	通年	事務所	EA21事務局
③水使用量の削減	■水道使用量の削減	■水使用時の節水（掲示） ■トイレの水流し音の継続	通年	全社	全社員
			〃	〃	〃
④化学物質使用量の削減	■化学物質の適正管理	■化学物質の適正な管理の継続 ■化学物質の人体への影響をSDSを元にまとめ、従業員に教育する ■化学物質の使用量の削減	通年	全社	EA21事務局
			〃	〃	〃
			〃	〃	該当者
⑤製品・サービス関連	■製品の品質向上	■半田付スキル向上の認定試験受験継続 ■品質改善活動を通して、仕損金の削減を行う	通年	全社	該当者
			〃	〃	全社員
	■作業改善による業務効率化	■作業改善を実施し、業務効率化を図る	通年	全社	生産技術G
⑥その他	■環境コミュニケーション活動	■敷地内緑化や社内外における環境コミュニケーションの実践	通年	全社	EA21事務局
	■環境教育の実施	■環境に関する教育をPJ活動の中で実施する	年2回	全社	〃
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	年2回	会社周辺	〃

5、環境経営目標・計画の実績と評価

①二酸化炭素総排出量の削減

(達成率と評価) ○:110%以上、○:100%以上～110%未満、△:90%以上～100%未満、×:90%未満

項目	基準年	基準値	単位	電気事業者 (排出係数)	2024年度 対象期間			
					目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素総排出量の削減 (電気、ガソリン、灯油、LPG含む)	本社工場	144.8	t-CO ₂	-	143.4 (基準年度実績値の1%削減)	126.9	113.0%	◎
		131.3	t-CO ₂	株式会社グリムスパー (0.486 t-CO ₂ /kwh)	130.0 (基準年度実績値の1%削減)	117.3	110.8%	◎
		13.5	t-CO ₂	株式会社東北電力 (0.438 t-CO ₂ /kwh)	13.4 (基準年度実績値の1%削減)	9.7	138.1%	◎



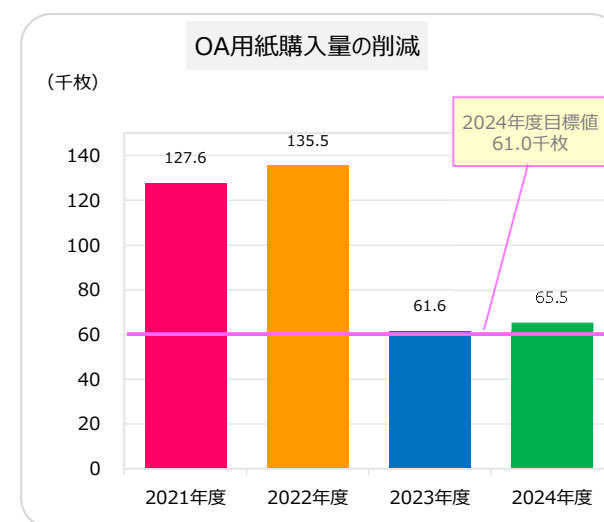
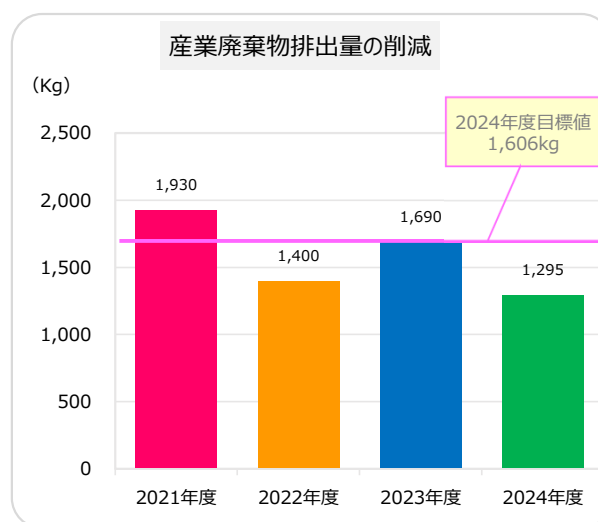
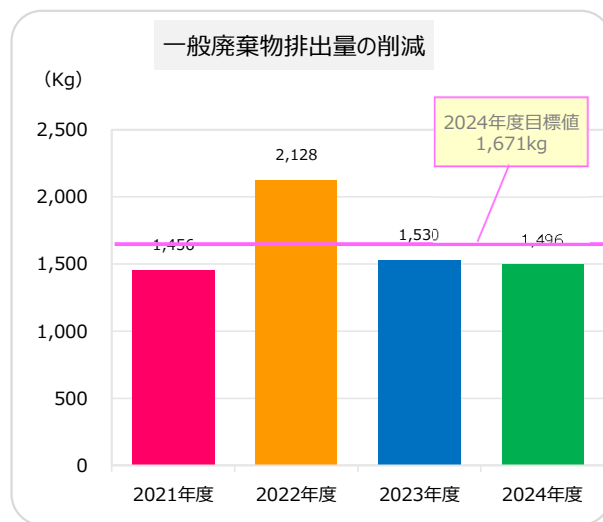
評価コメント) 本社工場：生産とエネルギー効率を考慮した生産装置の省エネを実践できたが、今冬の寒さ対策に暖房用のエネルギーが増加した。
 福沢工場：前年度課題に上がった夏冬期間の部材恒温湿保対策の活動が功を奏し大きな成果が得られた。



②廃棄物排出量の削減

(達成率と評価) ◎:110%以上、○:100%以上～110%未満、△:90%以上～100%未満、×:90%未満

項目	基準年	実績値	単位	2024年度 対象期間			
				目標値	実績	達成率	評価
一般廃棄物排出量の削減	過去3年間の平均	1,705	kg/年	1,671 (基準年度実績値の2%削減)	1,496	111.7%	◎
産業廃棄物排出量の削減	2023年度	1,690	kg/年	1,606 (基準年度実績値の5%削減)	1,295	124.0%	◎
OA用紙購入量の削減	2023年度	61.6 (A4用紙換算)	千枚/年	61.0 (基準年度実績値の1%UP)	65.5	93.1%	△



評価コメント) 一般廃棄物排出量の削減: 3R活動の効果が出ているがまだまだ改善の余地あり、引き続き活動を推進していく。

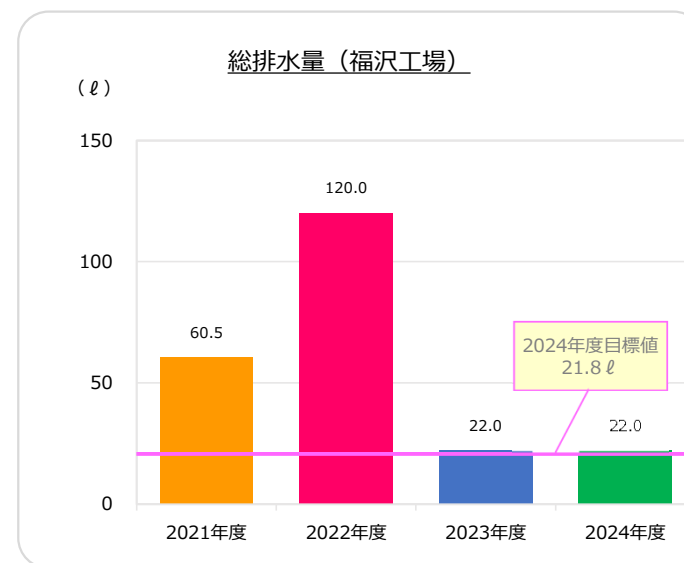
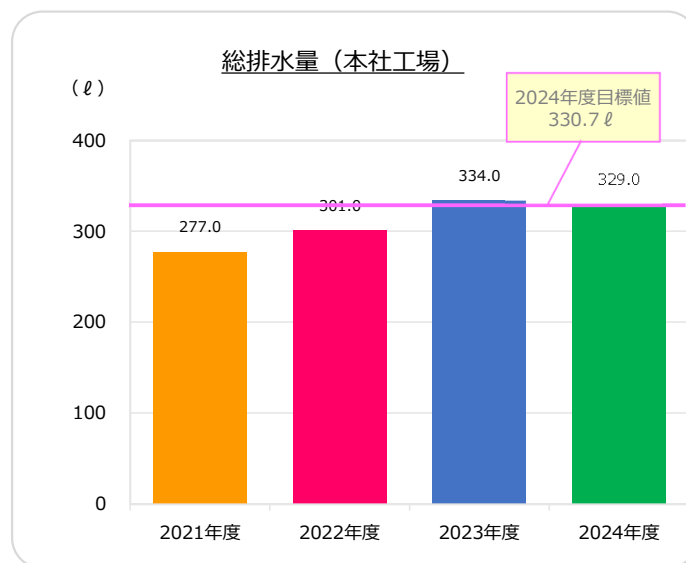
産業廃棄物排出量の削減: 有価物化への意識向上や処理方法の見直しにより排出量が削減できている。

コピー用紙リサイクル率向上: 品質・環境システム認証統合による諸確認事項増加により文書量が一時的に増えたことが要因。

③総排水量の削減

(達成率と評価) ◎:110%以上、○:100%以上～110%未満、△:90%以上～100%未満、×:90%未満

項目		基準年	実績値		2024年度 対象期間			
					目標値	実績	達成率	評価
水使用量の削減	本社工場	2023年度	334.0	m ³ /年	330.7 (基準年度実績値の1%削減)	329.0	100.5%	○
	福沢工場	2023年度	22.0	m ³ /年	21.8 (基準年度実績値の1%削減)	22.0	99.1%	△



評価コメント) 本社工場：2023年度から大型加湿器を導入したことにより水量が増えているが、節水啓蒙と節水コマ調整による適正水量の見直しにより昨年度より使用量が削減できた。
福沢工場：総使用量は前年と変わらずも、常駐人員増のため一人当たりの使用量は削減している。

④化学物質使用量の削減

(達成率と評価) ◎:110%以上、○:100%以上～110%未満、△:90%以上～100%未満、×:90%未満

項目	基準年	実績値	2024年度 対象期間			
			目標値	実績	達成率	評価
IPA購入量の削減	2023年度	765 ℓ/年	727 ℓ/年 (基準年度実績値の5%削減)	702 ℓ/年	103.6%	○

評価コメント) リフロー炉の洗浄をIPA代替品(ロックリン)に変更し一部削減ができた。

⑤製品・サービス関連

(達成率と評価) ◎:110%以上、○:100%以上～110%未満、△:90%以上～100%未満、×:90%未満

項目	基準年	実績値	2024年度 対象期間			
			目標値	実績	達成率	評価
作業改善提案の具現化 (治工具編)	2023年度	36 件/件	40 件/件 (基準年度実績値の10%増加)	65 件/件	162.5%	◎

評価コメント) 数種類のフィラメントと3Dプリンターの活用により、様々な機能・形状の治工具を製作・効率化を図ることができた。

⑥その他(地域環境保全への協力)

(達成率と評価) ◎:110%以上、○:100%以上～110%未満、△:90%以上～100%未満、×:90%未満

項目	基準年	2024年度 対象期間			
		目標値	実績	達成率	評価
コミュニケーション向上	環境関連教育の実施	2回 /年	4回 /年	200%	◎
地域貢献活動	会社周辺の清掃活動	2回 /年	5回 /年	250%	◎

評価コメント) 電子マニフェストの導入、関連施設の草刈り、わくわくワークや地域活動への参加等、計画以上に活動することができた。



6、取り組み内容と評価

①二酸化炭素総排出量の削減

(評価) ○:できた、△:概ねできた、×:未達成、/:未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■定期的にエアコンのフィルターを清掃する	○
		■照明器具の改善	○
		■デマンド管理の有効活用	△
		■休み時間は不必要な照明を消灯することの継続	○
		■クールビズの促進（作業環境：28℃）	○
		■ウォームビズの促進（作業環境：20℃）	○
		■夏冬期間における生産部材の適正恒温湿保管設定	○
		■SMT工程におけるN2発生装置の効率化	○
	■ガソリン使用量の削減 （燃費の向上）	■急発進、急加速はしない	○
		■不要な荷物はおろす	○
		■タイヤの空気圧を定期的に調整する	○
		■エコ運転カードの社有車への設置	○

～活動の様子～

エアコンのフィルターの定期清掃と
適切な空調管理を実施



②廃棄物排出量の削減

(評価) ○：できた、△：概ねできた、×：未達成、／：未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
廃棄物排出量の削減	■リサイクルの推進	■リサイクル品目の拡大と分別徹底	○
		■OA紙、ダンボール類のリサイクル継続	○
		■ドキュメントハンドリング・ソフトウェアによる電子化対応	○
	■廃棄物処分量の削減	■トイレットペーパーは芯なしを使用継続	○
		■OA紙削減（複合機活用による電子化の推進）	○
		■3R活動の推進	○
	■産業廃棄物の適正管理	■マニフェスト・契約書類の管理	○
		■電子マニフェストへの切り替え	○

～活動の様子～

OA紙・機密文書の
分別・リサイクル徹底



テプラカートリッジ
回収ボックスの利用

産業廃棄物の分別を徹底



③総排水量の削減

(評価) ○：できた、△：概ねできた、×：未達成、／：未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
水使用量の削減	■水道使用量の削減	■節水コマ調整による適正水量の見直し	○
		■トイレの水流し音の継続	○

～活動の様子～

「水を大切に」表示による
節水の呼びかけ



「音姫」を活用し
節水対応



④化学物質使用量の削減

(評価) ○：できた、△：概ねできた、×：未達成、／：未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
化学物質使用量の削減	■化学物質の適正管理	■化学物質の適正な管理の継続	○
		■化学物質の人体への影響をSDSを元にまとめ、従業員に教育する	○
		■化学物質の使用量の削減、ロックリン（IPA代替品）の導入	○

～活動の様子～

使用する有機溶剤毎に
色分けとGHSシンボルを表示



有機則非該当の
リフロー炉洗浄剤ロックリン
（IPA代替品）を導入



⑤製品・サービス関連

(評価) ○:できた、△:概ねできた、×:未達成、/:未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
製品・サービス関連	■製品の品質向上	■半田付スキル向上の認定試験受験継続（合格者3名）	○
		■品質改善活動を通して、仕損金の削減を行う	○
	■職場改善による作業効率化	■作業改善を実施し、業務効率化を図る	○

～活動の様子～

認定試験受験継続
(合格者3名)



品質・作業改善等
による業務改善



⑥その他

(評価) ○:できた、△:概ねできた、×:未達成、/:未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
その他	■環境コミュニケーション活動	■敷地内緑化や社内外における環境コミュニケーションの実践	○
	■環境教育の実施	■環境に関する教育をPJ活動の中で実施する	○
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	○

～活動の様子～

プランターへの
花植え



関連施設の
草刈り



7、環境関連法規などの遵守状況の確認（評価の結果、違反・訴訟などの有無）

当社が遵守すべき主な環境関連の法規等は以下の通りです。

環境関連法規等の名称	遵守すべき内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物を排出する場合：委託基準、委託契約書、マニフェスト交付・返送確認・交付状況報告	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンなどのフロン類の適正な回収と措置	○
下水道法	危険物の流出その他の事故発生時の通報	○
浄化槽法	年1回水質検査を受ける、年1回保守点検・清掃を実施し、その記録を保存する	○
労働安全衛生法	有機溶剤の貯蔵、取り扱いを適正に管理する	○
家電リサイクル法	特定家電を廃棄する場合：リサイクル料金の支払い、家電マニフェストの写しの交付を受ける	○
消防法	危険物の流出その他の事故発生時の通報	○

- ・各事項の法遵守状況を確認しました。
- ・環境関連法規に関する違反はありませんでした。
- ・関連機関の指摘や苦情、訴訟はありませんでした。
- ・地域からの苦情はありませんでした。
- ・関係当局からの違反等の指摘や指導は、過去3年間一度もありませんでした。



8、次年度の環境経営目標と環境経営計画

〈 環境経営目標 〉

項 目			基準年	実績値	環境経営目標（2025年度）		中期経営目標（2024年度～2026年度）			
					内 容	目標値	内 容	2024年	2025年	2026年
① 二酸化炭素排出量の削減	■ 二酸化炭素排出量 （本社工場）	(t-CO ₂ /年)	過去3年間の平均 （2021年度～2023年度）	131.3	基準年度実績値の2%削減	128.7	基準年度実績値の3%削減	130.0 1%削減	128.7 2%削減	127.4 3%削減
	■ 電気使用量の削減 （本社工場）	(kWh/年)	過去3年間の平均 （2021年度～2023年度）	240,655	基準年度実績値の2%削減	235,842	基準年度実績値の3%削減	238,248 1%削減	235,842 2%削減	233,435 3%削減
	■ ガソリン使用量 （本社工場）	(L/年)	2023年度	1,526	基準年度実績値の2%削減	1,495	基準年度実績値の3%削減	1,511 1%削減	1,495 2%削減	1,480 3%削減
	■ 電気使用量の削減 （福沢工場）	(kWh/年)	2023年度	27,094	基準年度実績値の2%削減	26,552	基準年度実績値の3%削減	26,823 1%削減	26,552 2%削減	26,281 3%削減
② 廃棄物排出量の削減	■ 一般廃棄物処分量	(kg/年)	過去3年間の平均 （2021年度～2023年度）	1,705	基準年度実績値の4%削減	1,636	基準年度実績値の6%削減	1,671 2%削減	1,636 4%削減	1,602 6%削減
	■ 産業廃棄物処分量	(kg/年)	2023年度	1,690	基準年度実績値の10%削減	1,521	基準年度実績値の15%削減	1,606 5%削減	1,521 10%削減	1,437 15%削減
	■ OA用紙購入量	(千枚)	2023年度	61.6	基準年度実績値の2%削減	60.4	基準年度実績値の3%削減	61.0 1%削減	60.4 2%削減	59.8 3%削減
③ 水使用量の削減	■ 水使用量 （本社工場）	(m ³ /年)	2023年度	334.0	基準年度実績値の2%削減	327.3	基準年度実績値の3%削減	330.7 1%削減	327.3 2%削減	324.0 3%削減
	■ 水使用量 （福沢工場）	(m ³ /年)	2023年度	22.0	基準年度実績値の2%削減	21.6	基準年度実績値の3%削減	21.8 1%削減	21.6 2%削減	21.3 3%削減
④ 化学物質使用量の削減	■ IPA使用量	(ℓ/年)	2023年度	765	基準年度実績値の3%削減	742	基準年度実績値の5%削減 （生産数量対比）	757 1%削減	742 3%削減	726 5%削減
⑤ 製品・サービス関連	■ 作業改善提案の 具現化（治工具）	(件/年)	2023年度	36	基準年度実績値の20%増加	45	基準年度実績値の30%増加	40 10%増加	45 20%増加	51 30%増加
⑥ その他	■ コミュニケーション向上	(回/年)	-	-	環境教育の実施	2	環境に関する教育を実施する	2	2	2
	■ 地域貢献活動	(回/年)	-	-	会社周辺の清掃活動等 （道路・側溝等）	2	会社周辺の清掃活動	2	2	2

〈 環境経営計画 〉

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	実施時期 (いつ)	該当場所・部門 (どこで)	担当者 (だれが)
①二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■定期的なエアコンフィルターの清掃	4月、10月	全社	生産技術G
		■蛍光灯照明器具のLED化対応	通年	〃	EA21事務局
		■デマンド有効活用による電力ピークの抑制	〃	〃	〃
		■休憩時間の不要照明消灯	〃	〃	全社員
		■クーلبズの促進（作業環境：28℃）	冷房期	〃	〃
		■ウォームビズの促進（作業環境：20℃）	暖房期	〃	〃
	■ガソリン・軽油使用量の削減 (燃費の向上)	■急発進、急加速はしない	通年	社有車	社有車運転者
		■不要な荷物は積載しない	〃	〃	〃
		■タイヤの空気圧の定期的な調整	〃	〃	総務G
		■社有車内へのエコ運転カード掲示による啓蒙	〃	〃	〃
②廃棄物排出量の削減	■廃棄物処分量の削減	■芯なしトイレペーパーの使用継続	通年	全社	全社員
		■複合機機能活用による電子化の推進（OA紙削減）	〃	〃	〃
		■リサイクル品目の拡大、分別徹底	〃	〃	〃
		■廃棄物保管場所のバトール実施	〃	〃	EA21事務局
		■従業員への3R活動を周知	〃	〃	〃
	■産業廃棄物の適正管理	■マニフェスト・契約書類の管理徹底	通年	全社	EA21事務局
		■電子マニフェストによる管理運用	〃	〃	〃
③水使用量の削減	■水道使用量の削減	■水使用時の節水（掲示）	通年	全社	全社員
		■止水栓調整による適正水量化	〃	〃	〃
		■音姫によるトイレ水流し音の継続	〃	〃	〃
④化学物質使用量の削減	■化学物質の適正管理	■化学物質の適正な管理を継続	通年	全社	EA21事務局
		■対象者へのSDS情報周知	〃	〃	〃
		■化学物質の使用量削減	〃	〃	〃
		■化学物質リスクアセスメントの実践	〃	〃	化学物質管理者
⑤製品・サービス関連	■製品の品質向上	■半田付スキル向上の認定試験受験継続	通年	全社	該当者
		■品質改善活動による仕損金の削減	〃	〃	全社員
	■作業改善による業務効率化	■作業改善提案の推進と具現化	通年	全社	生産技術G
⑥その他	■環境コミュニケーション活動	■敷地内緑化や社内外における環境コミュニケーションの実践	通年	全社	EA21事務局
	■環境教育の実施	■環境に関する教育実施	年2回	全社	〃
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈り等の実施	年2回	会社周辺	〃



9、代表者による全体の評価と見直し・指示

【全体の評価】

(1) 環境経営システムが有効に機能しているか

- 計画に沿った活動の実行、前期指示をした項目の見直しが図られており、システムは有効に機能していると判断する。

(2) 環境への取組は適切に実施されているか

- 概ね目標を達成しており、適切に実施されていると感じている。
- OA用紙購入量（未達）に関しては一過性のものであると認識しており、引き続き取組みを継続してほしい。

【変更の必要性】

- 環境経営方針：コスモスウェブとの一括認証へ向けた、行動指針の項目追加変更
- 実施体制：コスモスウェブとの一括認証へ向けた、新組織および管理者の変更

【見直し・指示】

- 関係者による活動だけではなく、社員全員が環境活動を意識して取り組めるよう推進してほしい。
- 今後コスモスウェブとの一括認証となるので目標および計画を注視し、良いところは取り入れて活動してほしい。



最後まで読んでいただきありがとうございました

